

聖路加看護学会

ニュースレター

第21回聖路加看護学会学術大会開催にあたって 第21回聖路加看護学会学術大会ご案内
 聖路加看護学会看護実践科学研究助成基金採択者報告 平成27年度学術交流会報告
 理事長挨拶 お知らせ 編集後記

●第21回聖路加看護学会学術大会開催にあたって

第21回学術大会 大会長 吉田 俊子 (宮城大学看護学部 教授・学部長)

第21回聖路加看護学会学術大会は、『「多元的ケア」をつくる・つなぐ～看護の可能性』をテーマに開催することとなりました。

現在の医療は、高度化複雑化し多職種連携で行われております。多職種でのテーブルディスカッションを行い、よりよいケアにつなげていくには、対象理解を共有し、専門的な看護支援を説明し行っていく力が求められます。また医療は、予防期から終末期の連続性の中で様々な場において展開されており、どのように看護をつないでいくのかは重要な課題となっております。学際的な視点から看護を捉えて、看護支援を考えていくことは、これらの課題解決への大きな力になると思います。また、考え方の多様性を知ることは、新たな看護を作り出す鍵となるといえます。

平成26年に出された日本学術会議 健康・生活科学委員会看護学分科会提言「ケアの時代を先導する若手看護学研究者の育成」においても、関連分野との連携・融合による多元的なケアの理念と、その具現化する理論や方法論の開発が不可欠であると述べられています。

今回の学術大会では「多元的ケア」に焦点をあて、多職種連携、様々な場で行われている医療の中で、看護をどのように作りだしていくか、つないでいくかを皆様と考える機会にしたいと思います。

看護職、医療職、関連職種、学生の皆様、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

●第21回聖路加看護学会学術大会ご案内

会 期：2016年9月17日(土)
 会 場：聖路加国際大学本館(東京都中央区明石町10-1)
 テーマ：「多元的ケア」をつくる・つなぐ～看護の可能性

◆プログラム

【会長講演】

「多元的ケア」をつくる・つなぐ～看護の可能性

演者：吉田 俊子 (宮城大学)
 座長：亀井 智子 (聖路加国際大学)

【基調講演】

「世界を変える『看護』の力(グローバルヘルスにおける新しい挑戦)」

演者：杉下 智彦 (国際協力機構)
 座長：吉田 俊子 (宮城大学)

【教育講演】

「多元的ケアの重要性」(仮)

演者：太田 喜久子 (慶應義塾大学)
 座長：井部 俊子 (聖路加国際大学)

【シンポジウム】

「多元的ケアをどのように作り、地域につなげていくか」(仮)

座長：山田 雅子 (聖路加国際大学)
 大森 純子 (東北大学大学院)
 演者：宇都宮 明美 (聖路加国際大学)
 佐藤 大介 (宮城大学)
 竹谷 洋子 (青森県立中央病院)
 中村 めぐみ (聖路加国際大学教育センター)

【ランチョンセミナー】

【一般演題】口演、示説

【卒業研究発表】

演題申込については、HPをご確認ください。

(<http://plaza.umin.ac.jp/slnr21/>)

演題締切：2016年5月31日(火)正午

◆参加費 ※事前申込は、2016年8月31日(水)までです。

学 会 員 ￥5,000 (当日参加 ￥6,000)

非学会員 ￥6,000 (当日参加 ￥7,000)

学 生 (当日申込のみ、￥3,000) 当日学生証をご提示ください

◆振込先

郵便振替口座：02290-8-120311

フリガナ：ダイニジュウイッカイセイロカカンゴカクカイガクジュツタイカイ

加入者名：第21回聖路加看護学会学術大会

◆領収書

郵便振替票をもって、領収書にかえさせていただきます。

◆お問合せ先

第21回聖路加看護学会学術大会事務局

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1-1

宮城大学看護学部 吉田研究室

E-mail アドレス：slnr21@myu.ac.jp